(様式３) 目的設定表(平成30 **年度)　予算区分：**通常　　**要求区分：**平成30年度 2月補正予算　　**確定日（**平成31 **年** 03 **月** 20 **日)**

事業ｺｰﾄﾞ	04060205			**政策コード**	04	**政 策 名**	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略				
事 業 名	台湾定期チャーター便運航促進事業			**施策コード**	06	**施 策 名**	交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築				
				指標コード	02	**施策目標(指標)名**	空の玄関口を生かした国内外との流動の促進				
部 局 名	観光文化スポー	**課 室 名**	観光振興課	**班名**	誘客推進班	**(tel)**	2265	**担当課長名**	成田　光明	**担当者名**	藤田　祐樹

評　価　対　象　事　業　（　計　画　）　の　内　容　　**事業年度**　平成30**年度**　～　平成30**年度**

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

少子高齢化により、日本全体の交流人口が減少する中、観光関連産業の振興による地域の活性化を図るためには、平成２９年度に過去最多となる１２０便のチャーター便が就航し、平成３１年３月３０日から定期チャーター便が新規就航する台湾との将来の国際定期便化に向けた継続的な取組みが必要不可欠である。

2．住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者　　□　一般県民　　**(時期：　　年　　月)**

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査　□ 各種委員会及び審議会　■ ヒアリング　□インターネット

□ その他の手法　　**(具体的に　　)**

③ニーズの具体的内容

訪日外国人旅行客の動向を見据えて、台湾市場をターゲットとした誘客強化への取組みを必要としている事業者が多い。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由	
②今後の方針	

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）

航空路線の拡充・維持及び秋田泊旅行商品の造成・販売を促進し、台湾人宿泊者数を増加させ、秋田県経済の活性化を図る。

(重点施策推進方針との関係)　● 重点事業として要望　○ その他事業として要望

4．目的達成のための方法

①事業の実施主体	県
②事業の対象者･団体	航空会社、旅行会社、一般消費者等

③達成のための手段

秋田・台湾国際定期チャーター便の初便就航にあわせ、秋田空港及び台湾桃園国際空港において就航セレモニーを開催する等により、台湾定期チャーター便の就航をテレビや新聞等を通じて、広く県民及び台湾に向けてＰＲする。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性

秋田・台湾国際定期チャーター便の初便就航にあわせた就航記念セレモニーであるため、その他の代替手段はない。

5．事業の全体計画及び財源　　**単位(千円)**

順位	事 業 内 訳	左　の　説　明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	定期チャーター便歓迎セレモニー開催事業	秋田・台湾国際定期チャーター便の就航にあわせ、就航記念セレモニーを開催し、台湾定期チャーター便の就航を広く県民及び台湾に向けてＰＲする。	4,067						4,067

財源内訳	左　の　説　明							
		4,067						4,067
国庫補助金								
県債								
その他								
一般財源		4,067						4,067

６．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	県民等に対する秋田・台湾国際定期チャーター便の認知度向上とともに、同チャーター便の利用促進が図られる。

指標Ⅰ

指標名	秋田県外国人延べ宿泊者数（全施設）	指標の種類
指標式	秋田県外国人宿泊者数×泊数	●成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
目標a			88,000					
実績b	66,950							

②データ等の出典

東　北			観光庁宿泊旅行統計調査
全　国			

③把握する時期　○ 当該年度中　月　● 翌年度 07月　○ 翌々年度　月

指標Ⅱ

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
目標a								
実績b								

②データ等の出典

東　北			
全　国			

③把握する時期　○ 当該年度中　月　○ 翌年度　月　○翌々年度　月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

秋田・台湾国際定期チャーター便の年間を通じた安定的な運航に向けては、台湾からの誘客のみならず、秋田からのアウトバウンド需要の確保・拡大が重要となる。就航セレモニーの開催により、定期チャーター便就航の周知のみならず、県民及び台湾人の旅行機運の造成を図るものであり、必要不可欠である。

住民ニーズに照らした事業の必要性

継続的な誘客促進による更なる宿泊者の増加が求められている。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務　□ 内部管理事務　■ 県でなければ実施できないもの

□ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

海外からの誘客は広域的な連携による取組みが必要であること、チャーター便の誘致等は航空行政からのアプローチも必要であることから、県でなければ実施できない。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	○重点事業　○その他